

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	東京2020オリンピック・パラリンピックへの木材提供を契機に天龍村の木材をPRしよう!
事業主体 (連絡先)	天龍村
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	749,560 円

事業内容

・柔道家古賀稔彦氏による講演会の実施

令和元年11月16日(土)天龍村文化センター なんでも館ホール 聴講者約200名 内容:ハンガー制作体験コーナーや村有林のFM認証ブースを設け、活動や村産材のPRを行った。ハンガー2020本の完成と2020東京オリパラへの気運をより一層高めるため、バルセロナ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦氏が講演。講演会の後に、ハンガープロジェクトのプレゼンテーションを実施し、ハンガーの贈呈を行い、古賀さんの人脈で柔道選手団体へのハンガープロジェクト贈呈先の仲介をお願いした。

古賀さんも大変このプロジェクトに共感いただき、女子柔道アテネ・北京2大会金メダリストの谷本歩実氏にも贈呈することが出来た。

・ハンガー贈呈 各種スポーツ団体。

・ふるさとCM大賞NAGANOに応募 敢闘賞受賞

事業効果

ハンガープロジェクトにより、それを応援する多くの村民と活動に賛同された著名人の方々が現れ、多くのアスリートへこの思いを届けることができた。金メダリスト古賀稔彦氏の講演により、オリンピック・パラリンピックがより一層身近なものとなり、かつ本村の木材が使用されることに村民一同が誇りを持つことにつながっている。

少子高齢化で全体的に活気のない雰囲気から今回の取り組みで小さな村にも夢や希望・感動をあたえることができ、地域の一体感が生まれた。

この感動を契機に、村の木材が見直され、今後の利用促進に繋がることが期待したい。

今後の取り組み

今回の東京2020オリンピック・パラリンピックへの木材提供に端を発した、ハンガープロジェクトにより、小さな村の大きな挑戦となり、村民に夢と希望を与えることが出来た。この意識の高揚そのままに、オリンピック・パラリンピック終了後に村へ帰って来る提供木材を、レガシーとして活用し、より一層村の木材活用を促進したい。



【古賀稔彦氏による講演】

【目標・ねらい】

- ①アスリートへのハンガー贈呈により天龍村の思いを届ける。
- ②金メダリスト招致によりオリンピック・パラリンピックがより身近なものとなる。
- ③今回の取組により夢や希望・感動との出会いの享受

※自己評価【 A 】

【理由】

子供達の発案が、多くの村民を巻き込み、講演頂いた古賀稔彦氏にもへ思いが伝わり、村内外へのアピールが出来た。天龍村産の木材を多方面で活用しようとする姿勢が理解された。